



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 日本インシュレーション株式会社 上場取引所 東
コード番号 5368 URL <https://www.jic-bestork.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉井 智彦
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経営企画部部長 (氏名) 金子 一郎 (TEL) 06-6210-1250
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,968	1.2	279	2.6	261	△6.6	166	△11.6
2023年3月期第1四半期	2,932	△18.2	272	△31.8	279	△34.8	188	19.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 202百万円(5.2%) 2023年3月期第1四半期 192百万円(91.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	19.26	—
2023年3月期第1四半期	21.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	16,544	12,353	74.7
2023年3月期	16,323	12,469	76.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 12,353百万円 2023年3月期 12,469百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	37.00	37.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	37.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,196	6.2	507	△0.3	494	△0.7	285	△10.9	32.98
通期	13,335	8.2	1,433	25.1	1,416	23.9	878	21.3	101.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	8,707,200株	2023年3月期	8,707,200株
2024年3月期1Q	66,015株	2023年3月期	65,915株
2024年3月期1Q	8,641,218株	2023年3月期1Q	8,689,785株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。したがって、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性も有しております。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、引き続き物価上昇の影響に加え、地政学リスクの長期化や世界的な金融引き締め等による景気の下振れリスクなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの業績につきましては、建築関連では、大型の耐火被覆工事の受注の減少により工事部門の売上高は減少しました。販売部門で価格転嫁の効果に加え需要量回復により増加したものの、建築関連セグメントの売上高は前年同期比で減少しました。プラント関連では、工事部門で定期修繕工事、メンテナンス工事等で受注が増加しました。販売部門で売上高が減少したものの、プラント関連セグメントの売上高は前年同期比で増加しました。なお、原料・燃料費の高騰に対応して昨年より行ってきた価格転嫁は、徐々に浸透しておりますが、原価の高騰をカバーするには至っていない状況です。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は2,968,676千円(前年同期比1.2%増)、営業利益は279,302千円(前年同期比2.6%増)、経常利益は261,342千円(前年同期比6.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は166,472千円(前年同期比11.6%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<建築関連>

工事部門においては、商業施設、病院施設、工場等の耐火被覆工事が比較的堅調に推移したものの、物流関係の大型工事案件の受注が振るわず、工事売上高は前年同期比で減少となりました。一方、販売部門においては、住宅向け耐火被覆材、CFRP型材の販売量が堅調に推移したことに加え、価格転嫁の効果等により、販売売上高は前年同期比で増加しましたが、工事売上の減少を販売売上の増加で埋めるには至りませんでした。

その結果、建築関連全体の売上高は1,070,416千円(前年同期比12.0%減)、営業利益は199,348千円(前年同期比23.3%減)となりました。

<プラント関連>

工事部門においては、電力、石油化学、鉄鋼等の定期修繕工事、メンテナンス工事関係が堅調に推移したことにより、工事売上高としては前年同期比で増加しました。販売部門においては、下期に建設案件向けが見込まれるものの、当期間においては、国内一般顧客メンテナンス向け、建設案件向け販売ともにやや振るわず、販売売上高は前年同期比で減少しましたが、工事売上の増加が販売売上の減少をカバーする形となりました。

その結果、プラント関連全体の売上高は1,898,260千円(前年同期比10.6%増)、営業利益は305,992千円(前年同期比25.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて220,675千円増加し、16,544,471千円となりました。

(流動資産)

流動資産については、前連結会計年度末に比べて211,634千円増加し、10,445,713千円となりました。これは主に、完成工事未収入金が446,350千円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が527,545千円、商品及び製品が63,740千円、仕掛品が58,631千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産については、前連結会計年度末に比べて9,041千円増加し、6,098,757千円となりました。これは主に、建物及び構築物(純額)が20,908千円、機械装置及び運搬具(純額)が37,688千円減少したものの、その他(投資その他の資産)が75,302千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債については、前連結会計年度末に比べて360,128千円増加し、3,061,343千円となりました。これは主に、賞与引当金が75,521千円減少したものの、契約負債が98,844千円、未払法人税等が97,418千円、その他が251,304千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債については、前連結会計年度末に比べて22,654千円減少し、1,129,928千円となりました。これは主に健康被害補償引当金が25,583千円増加したものの、長期借入金が36,762千円、役員退職慰労引当金が7,792千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産については、前連結会計年度末に比べて116,798千円減少し、12,353,199千円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が36,897千円増加したものの、利益剰余金が153,254千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました予想数値からの変更は行っておりません。今後、さらに経済及び事業環境が一層悪化する等の事態が発生した場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。業績予想の修正が必要となる場合には速やかに開示いたします。なお、当該業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,368,707	4,389,159
受取手形、売掛金及び契約資産	2,009,318	2,536,864
電子記録債権	700,401	728,703
完成工事未収入金	2,049,424	1,603,073
商品及び製品	572,944	636,684
仕掛品	308,359	366,991
原材料及び貯蔵品	140,146	147,529
その他	84,776	36,707
流動資産合計	10,234,079	10,445,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,363,478	1,342,569
機械装置及び運搬具（純額）	1,216,866	1,179,178
土地	2,721,445	2,721,445
建設仮勘定	1,366	2,861
その他（純額）	56,050	53,427
有形固定資産合計	5,359,206	5,299,482
無形固定資産	70,442	63,906
投資その他の資産		
その他	711,930	787,233
貸倒引当金	△51,863	△51,863
投資その他の資産合計	660,067	735,369
固定資産合計	6,089,716	6,098,757
資産合計	16,323,796	16,544,471

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	900,677	872,625
工事未払金	488,520	459,708
契約負債	216,044	314,888
短期借入金	50,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	507,048	494,548
未払法人税等	40,996	138,414
賞与引当金	189,035	113,514
完成工事補償引当金	5,585	5,631
工事損失引当金	6,029	4,763
設備関係支払手形	39,740	48,406
その他	257,536	508,841
流動負債合計	2,701,214	3,061,343
固定負債		
長期借入金	380,890	344,128
役員退職慰労引当金	187,152	179,360
健康被害補償引当金	146,500	172,083
その他	438,041	434,357
固定負債合計	1,152,583	1,129,928
負債合計	3,853,797	4,191,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,200,247	1,200,247
資本剰余金	942,331	942,331
利益剰余金	9,513,682	9,360,428
自己株式	△50,346	△50,346
株主資本合計	11,605,915	11,452,660
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	789,081	789,081
その他有価証券評価差額金	115,061	151,959
為替換算調整勘定	△40,060	△40,502
その他の包括利益累計額合計	864,082	900,538
純資産合計	12,469,998	12,353,199
負債純資産合計	16,323,796	16,544,471

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,932,235	2,968,676
売上原価	2,128,357	2,190,664
売上総利益	803,878	778,012
販売費及び一般管理費	531,698	498,709
営業利益	272,180	279,302
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,185	7,318
健康被害補償引当金戻入額	7,130	-
為替差益	10,033	7,633
賃貸収入	5,147	4,754
その他	5,531	1,706
営業外収益合計	33,028	21,412
営業外費用		
健康被害補償引当金繰入額	20,000	35,583
支払利息	1,744	1,569
賃貸費用	1,376	1,364
固定資産除却損	940	-
その他	1,370	855
営業外費用合計	25,432	39,372
経常利益	279,776	261,342
特別利益		
投資有価証券売却益	3,286	-
特別利益合計	3,286	-
特別損失		
減損損失	544	5,533
投資有価証券売却損	446	-
特別損失合計	991	5,533
税金等調整前四半期純利益	282,071	255,809
法人税、住民税及び事業税	134,900	127,302
法人税等調整額	△41,133	△37,965
法人税等合計	93,766	89,336
四半期純利益	188,304	166,472
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	188,304	166,472

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	188,304	166,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	36,897
為替換算調整勘定	4,686	△442
その他の包括利益合計	4,594	36,455
四半期包括利益	192,898	202,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,898	202,928
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	建築関連	プラント関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,216,057	1,716,177	2,932,235	—	2,932,235
計	1,216,057	1,716,177	2,932,235	—	2,932,235
セグメント利益	260,036	243,267	503,304	△231,124	272,180

(注) 1. セグメント利益の調整額△231,124千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「プラント関連」セグメントにおきまして、当第1四半期連結累計期間に544千円の減損損失を計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	建築関連	プラント関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,070,416	1,898,260	2,968,676	—	2,968,676
計	1,070,416	1,898,260	2,968,676	—	2,968,676
セグメント利益	199,348	305,992	505,340	△226,038	279,302

(注) 1. セグメント利益の調整額△226,038千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「プラント関連」セグメントにおきまして、当第1四半期連結累計期間に5,533千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。